

令和5年9月1日

**「令和4年度技能実習制度に関する調査」の結果を公表します
～帰国後技能実習生の92.0%が技能実習が役に立ったと回答～**

外国人技能実習機構では、下記の調査を実施し、結果をとりまとめましたので、公表します。

外国人技能実習機構は、今回の調査結果を踏まえ、今後とも、制度の適正・円滑な運用を図るとともに、広く関係者の皆様に技能実習制度についての理解が深まるよう努めてまいります。

1 帰国後技能実習生フォローアップ調査（技能実習生対象のアンケート調査）

本調査は、技能実習を修了して帰国した技能実習生に対して、帰国後の就職状況や職位の変化、日本で修得した技能・技術・知識の活用状況などについて把握するために、平成30年度から毎年度実施しているものです。

令和3年度及び令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響で本国に帰国できなかった元技能実習生も多かったことから、調査対象者として、帰国できず、日本で在留資格「特定活動」により在留中の元技能実習生も含めています。

令和4年度の調査対象者は、技能実習を修了した技能実習生のうち、令和4年9月1日から令和4年12月31日までの間に帰国した、又は帰国予定の、国籍がベトナム、中国、インドネシア、フィリピン及びタイの者31,271人で、うち7,648人の有効回答がありました。そのうち、「帰国していない」と回答した者は4,495人で、調査対象者の14.4%、有効回答数の58.8%となっています。

2 帰国後技能実習生に対する支援実態等調査（監理団体等対象のアンケート調査）

技能実習生を受け入れている監理団体及び企業単独型実習実施者（以下「監理団体等」という。）に対して、令和3年度に帰国した技能実習生の就職、技能移転に係る支援のほか、技能実習中の技能実習生の技能等の修得状況などについて調査を実施したものです。監理団体等3,116のうち2,810の有効回答がありました。

【調査結果のポイント】

○帰国後技能実習生フォローアップ調査

(以下の内容は、有効回答から「帰国していない」という回答を除いた結果です。)

- ・ 帰国した技能実習生のうち、技能実習期間を通じて学んだことが「帰国後、役に立った」と回答した人は92.0%となっている。
- ・ 役に立った具体的な内容は、「修得した技能」が78.9%と最も多く、「職場の規律」が66.0%、「日本での生活経験」が65.4%と続く。
- ・ 帰国後の就職状況について「雇用されて働いている(17.0%)」、「雇用されて働くことが決まっている(5.9%)」又は「起業している(10.7%)」と回答した人の合計が33.6%となっている。
- ・ 従事する仕事の内容は、「実習と同じ仕事(45.8%)」又は「実習と同種の仕事(20.7%)」と回答した人の合計が66.5%となっている。

※ 別添1 令和4年度「帰国後技能実習生フォローアップ調査」(概要)

○帰国後技能実習生に対する支援実態等調査

- ・ 帰国後の就職状況について「雇用されて働いている(40.7%)」、「雇用されて働くことが決まっている(5.0%)」又は「起業している(5.9%)」と回答した合計が51.6%となっている。
- ・ 従事する仕事の内容は、「技能実習と同じ仕事(31.1%)」又は「技能実習と同種の仕事(24.6%)」と回答した合計が55.7%となっている。
- ・ 帰国した技能実習生の技能移転を進めるために「支援を行った」と回答した監理団体等は73.2%となっている。
- ・ 技能移転を進めるための具体的な支援内容は「日本での技能実習の修了証明、在職証明等の発行」が81.0%と最も多く、「帰国後の就労・起業に関する相談対応」が36.2%、「帰国後の就職先の案内や推薦」が32.5%と続く。
- ・ 現在、本邦に在留する技能実習生の技能実習が「計画どおりに進んでいる」と回答した監理団体等が98.6%となっている。

※ 別添2 令和4年度「帰国後技能実習生に対する支援実態等調査」(概要)

【照会先】 総務部企画・広報課

担当者：綿引、山澤、日江井